

令和6年度食糧援助（WFP連携） 食糧引渡式

2月14日、令和6年度食糧援助（WFP連携：2億円）にて、WFPが調達したメイズ、食用油及び豆類を、山中大使から東マシヨナランド州チコンバ郡で食糧不足に陥っている脆弱な地域住民に対し引渡しました。

ジンバブエでは、気候変動の影響により、干ばつ、洪水、サイクロン、害虫などの深刻な被害が頻繁に発生しており、2023年（令和5年）から2024年（令和6年）の穀物生産量は、前期比で77%減少しました。また、ジンバブエは、国連食糧農業機関（FAO）作成のハンガーマップにおいて、全人口に占める栄養不足人口の割合が38.4%（2020年（令和2年）から2022年（令和4年）の平均）に達しており、6段階中2番目に深刻なレベルと位置づけられ、食料・栄養の支援に対する緊急的ニーズが極めて高い状況にあります。

食糧引渡式は、東マシヨナランド州チコンバ郡第28区のWFP食糧配布拠点（シヌカイ初等学校）にて行われ、山中大使、ムイインガWFP事務所次長、ムシャワシャ公共サービス省社会開発担当局長、マリガ・チコンバ郡開発コーディネーターのほか、食糧を受け取りに集まった同区住民約200名が参加しました。

（式典の様子）



食糧を受け取るチコンバ郡住民と山中大使



山中大使から住民にメイズを引渡し



本使から住民に食用油を引渡し



食糧を持ち帰る住民



引渡した食糧と住民



食糧引渡会場の全景